



荒神社(塩地)

⑬天満宮(長津)

鎮座地 都窪郡早島町早島一八一五
境内地 八五九㎡
祭神 菅原道真

天満宮は、長津松ヶ岡の小高い丘の上に建立されている。

この地は古くには古城があつて、丘の南には天水神を祀った岩が残っていた。



改築前の天満宮(長津)



改築後の天満宮(長津)

その後、太宰府天満宮から菅原神を勧請し、近郷の人々の厚い崇敬があつた。明治三十八年には鎮座一千年祭を執行し、その記念として境内に記念碑を建立している。
祭神の菅原道真公は学者であり政治家であつた。宇多・醍醐天皇に重用され、右大臣にまで昇進したが、政敵藤原時平の中傷によって京都から太宰府に左遷され延喜三年(903)に配流地の太宰府において客死した。

ところが、それ以後京都において激しい落雷があり、火災が相次いでおこり、朝廷ではこれを道真の祟りとして恐れ、没後二十年にして、道真を本官に復して正二位を贈り、火雷神の号を賜つた。

道真の怨霊が当時の御霊信仰や雷信仰と習合したのであるが、祟りが鎮まった後も、北野天満宮と太宰府天満宮を拠点として天神信仰が広

⑩荒神社(市場)

鎮座地 都窪郡早島町早島一一三七
境内地 一一三㎡
祭神 火之迦具土神

荒神社は昭和三十八年一月鶴崎神社の飛び地境内神社として合併された。

千光寺裏手の墓地の脇に祀られており、社殿は御堂形式で、瓦葺きの社殿の中に、宮形が安



荒神社(市場)

⑪荒神社(市場)

鎮座地 都窪郡早島町早島一二五四
境内地 八五㎡
祭神 火之迦具土神

荒神社の旧社殿に嘉永三年(1850)建立の記録が残る。昭和三十八年一月鶴崎神社の飛び地境内神社として合併された。

平成十四年に社殿の老朽化に伴い改築を行う事となり、平成十四年一月二十四日仮殿遷座祭、同二月五日地鎮祭、同四月二十四日本殿遷座祭、同五月十一日には竣工祭が執行された。

また、社殿改築に伴い、石鳥居一基が境内に奉納された。改築された社殿は規模を縮小して建てられ、改築前の社殿同様に本殿は独立せず、作り込みの形式をとっている。

祭典は十月二十七日に市場桜町、市場旭町、市場町市場東、市場町市場中、市場町市場西、市場中市場の氏子により、順番で奉仕している。

置されている。

境内入り口には石鳥居が建てられ、境内には石灯笼と幟石各一对がある。

平成四年九月に市場床田東、市場床田中、市場床田西、市場奥市場奥、市場奥市場前、市場城山団地、市場才尻組合の氏子により、改築が行われた。

祭典は十月二十七日に氏子の組合が順番で奉仕している。



荒神社(市場)

⑫荒神社(塩地)

鎮座地 都窪郡早島町早島一三九三
境内地 二二九㎡
祭神 火之迦具土神

荒神社は昭和三十八年一月鶴崎神社の飛び地境内神社として合併された。

妙法寺隣に祀られており、祭典は十月二十八日塩地の氏子が順番で奉仕している。